



わが心のふるさと富士山

8

型染めと文

渡辺久意さん

藤原九七七—



米の宮のお浅間さん

住まいの裏の通りに、米の宮浅間神社があります。朱い大きな鳥居が入り口にあり、正面から見ると鳥居の両方の柱の間に、木々に包まれたお社がすっぽり入ってしまいます。そして、見上げると雄大な富士山が見え隠れするので。

朱い鳥居と緑深い社の木々、雪をいただく富士山と、すばらしい色彩のコントラストにいつも魅せられてしまいます。

こちら編集室

忘年会のお酒で、体がほんわか温まったときに、なぜか広報ふじの話になってしまった。広報ふじをほとんど読まなくて、読むところは、こちら編集室だけだ。考えれば、肩の力を抜いて本音で書いてる部分は、ここだけかも。『うまい酒に、気取りはいらない』のと同じように、読んでもらおうとか知ってもらおうとか、大それた思いを捨てればいいのかなあ。反論で、あふれ出そうな言葉を必死で抑えて言ってやったね。「おばちゃん、お酒もう一杯」って。

“富士市民くらしのカレンダー”が届きましたか。ごらんになった感想は、いかがでしょうか。型はあくまでシンプルに、しかし情報量は盛りだくさんに——。広報広聴課が、ことし自信を持ってお届けする新製品です。

カレンダーの中に、アンケート用紙が入っていましたらぜひご協力をお願いします。



広報ふじは環境にやさしい再生紙を使っています